

2015年度事業計画

2015年度は、昨年ベニンホフ記念館の耐震工事が終了し、漸く活動に注力できる体制が整い、新しい奉仕園への出発の年度としたい。

1. 組織の改組による「3本柱」のスタート

公益法人への移行を鑑みセミナーハウスの中にあった講座部門と学生活動部門が合体し、「活動事業部」を立ち上げ「学寮事業部」、「活動事業部」「セミナーハウス事業部」3本柱とし、共に協力発展する体制をスタートさせる。活動事業部では、4つのカテゴリー（テーマ）を設け、それぞれ座学・ワークショップを中心とした「まなび舎」と「まなび舎」での学びを活かした体験・表現の場としての「活動舎」に編成、相乗効果による実践的なプログラムの展開をはかる。

2. ホームページの全面リニューアル

上記「3本柱」を対外的に発信するために、ホームページを全面的にリニューアルし、新しい奉仕園をPRしていく。

3. セミナーハウスの設備・備品の充実

本年6月から隣接する日本キリスト教会館の耐震補強工事が始まる。6階会議室の使用ができないので、自前の会議室・ホールの稼働を上げるため設備・備品の充実をはかる。

4. 学寮事業における相互のコミュニケーション向上

活動事業部の組成により、友愛学舎・ゲストハウス・国際友愛学舎のプログラムを充実する。今年度はフェーズIと位置付ける。

1. 公益目的事業

(1) 国際相互理解のための体験活動及び普及啓発事業

■国際理解講座 Global Understanding

日本の歴史や現状を学び、国際理解を深め、議論できる力を育む。ウェスレーファウンデーション、学生キリスト教友愛会 S C F、早稲田奉仕園による共催プログラム「ヘイトスピーチを考える」を開催。3月末から沖縄フィールドワーク実施のための事前学習を行う。

対象：主に大学生、大学院生、青年

■沖縄フィールドワーク

世界の中、とくにアジアの中の日本を知るための体験型学習を実施する。4月下旬から5月上旬に沖縄、東京近郊（その他、海外プログラムも紹介）にて行う。

対象：大学生、大学院生、青年

■マイノリティ問題と宣教戦略国際会議参加

在日大韓基督教会主催（11月15日～17日）の青年プログラムへ参加。

対象：大学生、大学院生、青年

■年中行事を楽しむ会 Feel Japan

留学生が日本の文化や風習を体験し、国際理解を促進するプログラム。友愛活動の一環でもあり、舎生が事前学習を経てプログラム作りを担当し、国際学舎に居住する留学生及び早稲田大学留学生等を対象に実践活動をおこなう。書道、生け花等の講師は随時プログラムに合わせて専門家を招く。

スケジュール：茶道（5月）、歌舞伎鑑賞（6月、国立劇場）、七夕・書道（7月、高田馬場茶道会館）、花火見物（8月）、生け花（10月）、紅葉狩り（11月、北鎌倉）、餅つき（1月）、豆まき（2月）、ひな祭り（3月）

対象：奉仕園寮の学生、早大留学生、日本語ボランティアの会参加者など

■モスク訪問フィールドワーク

講座「今こそ知りたいイスラム教と世界の動き」の最終回を兼ねて、東京ジャーミー（モ

スク) を訪問しイスラム教の教えを学ぶ。

対象：学生、社会人

■アジアの文化を体験しよう

アジアの家庭料理教室の開催や映画上映会、都内・近郊で行われるエスニックイベントへの訪問等を通じてアジアを体験する。

対象：学生、社会人

■いのり☆フェスティバル（主催：いのりフェスティバル実行委員会、協賛：早稲田奉仕園）

スコットホール及び中庭を会場に 9 月開催予定。キリスト教につながるあらゆる人々が教派や企業、学校の枠を超えて一堂に介するフリーマーケット型イベント。

(2) 国際相互理解を基調としたボランティア活動推進事業

■日本語ボランティアの会

「日本語ボランティア養成講座」の修了者がボランティア日本語講師として日本語を必要としている学習者にボランティアで日本語を教える。通常の活動のほか、課外活動、学習者発表会、新年会、研修会など随時行う。会報も年 2 回発行。

開講日：水曜日：3 クラス 金曜日 1 クラス

対象：ボランティアは奉仕園日本語教師養成講座修了者、学習者は学生、社会人

■早稲田ネットワーク外国人無料生活相談会（共催）

外国人への生活・労働・教育の分野で相談スキルを持つ個人がボランティアとして集まり「早稲田ネットワーク」を組織、外国人の相談業務に当たる。日本社会で暮らす在日外国人への無料相談窓口を開設することで、行政や教育的な制度活用を支援し、共に生きる社会を身近な形で実現していく。また、大学生のボランティアを募り、NGOなどの民間団体の役割の重要性を学び、使命感を持つ次世代の育成も視野に入れる。

日時：毎月第 2 日曜日午後 1 時から 5 時

対象：運営は大学生・院生ボランティア、相談者は在日外国人

■東日本大震災被災者支援ボランティア活動

富士登山体験や学習支援などのボランティア活動を実施。

協力：NPOココロとカラダを育てるハッピープロジェクト

対象：大学生・大学院生、青年ボランティア

■あすなる会

ボランティアを通じて、ともに生きる社会を築く。新宿区立新宿福祉作業所の方々が奉仕園内でパンの販売を行っているため、その関係から活動を模索。

対象：大学生・大学院生、青年ボランティア

■野宿者支援給食活動@渋谷（共催）

渋谷での野宿者支援給食活動に参加し、ボランティア活動を通して貧困や生存権の問題を身近に感じる。日本福音ルーテル本郷教会／本郷学生センターと日本キリスト教団早稲田教会の青年との協働プログラムとして実施。

期日：第1、第3日曜日午後

対象：学生、社会人ボランティア

（3）国際相互理解のための語学講座及びその他講座事業

■What' s happening in the world?

地球上で起きている諸問題を毎回1つ取り上げ、米国人ジャーナリストとともに考える。実践的な語学力とともにニュースを批判的に見る眼を養う。WEBや新聞記事の説明・難しい表現の説明から初めて、後半ではその記事で取り上げられた問題について各自の意見を述べる。

期間：前期4月～9月、後期10月～3月 各7回

対象：学生、社会人 18歳以上

講師：ジェンズ・ウィルキンソン

■今こそ知りたいイスラム教と世界の動き（仮題）

一部の過激派による残虐な事件を背景にヨーロッパ各地でイスラム教徒を迫害するデモが

起こっている現在。知っているようで知らないイスラム教の教えや平和についての考え方、「アラブの春」に代表される若者たちのダイナミックな運動、日本に暮らすムスリムを取り巻く状況の変化など、(現代における)イスラム教を多角的に考える連続講座。

- ①イスラム教とテロリズム～クルアーンに見る「ジハード」と平和の捉え方
- ②アラブ革命・若者・詩～アラブ世界における若者の暮らしと革命
- ③ムスリムを生きる～日本で暮らして〇〇年、変わったこと、変わらないこと～

期日：平日夜予定

対象：学生、社会人

■アジア語

①通年クラス

ベンガル語、ヒンディー語、ミャンマー語の3言語を学習する語学講座及び料理などの文化や地域社会を学ぶプログラムの開催を通して、人材育成及び文化理解の促進を図る。言葉の習得にとどまらずアジアの各地域の文化や習慣、社会を理解することをめざす。入門クラスから中級・上級クラスまでレベルごとに幅広くクラスを展開する。その他「世界を知る」カテゴリで関連するプログラムを実施する。

期日：火・水・木・金曜日

対象：学生、社会人

②ネイティブから学ぶ！旅行に役立つ！はじめてのアジア語 ワンデーレッスン

初心者対象の1日集中講座。旅行などで現地を訪れた際に役立つ会話表現を中心に、ネイティブ講師がその土地の文化も紹介する。

期日：7月および3月の休日2日間

対象：学生、社会人

③はじめての韓国語通訳2日間レッスン

専門家による韓国語通訳者養成トレーニング体験講座。

講師：矢野百合子、ペスンジュ

期日：7月および3月の休日2日間予定

対象：学生、社会人 学習経験 3 年以上（ハングル検定 2 級程度の方）の方

■ムリなく学べる基礎英語

しばらく英語から離れていた方も気軽に始められるゆっくりとしたペースの英語講座火曜日と金曜日の 2 クラス。基本文法と文型を学びつつ、身近な話題を取り上げ、日常会話や海外旅行にも役立つ表現を身につける。

期日：前期 4 月～9 月、後期 10 月～3 月 各 16 回

対象：学生、社会人

■日本語ボランティア養成講座

1 年間 3 期で日本語教授法の初級Ⅰ、初級Ⅱ、中・上級を学ぶ。4 月開講の初級Ⅰ終了後から日本語ボランティア活動が開始できる。10 月開講の初級Ⅱでは、初級から中級レベルの橋渡しがスムーズにいくように重要表現文型とその教え方を学ぶ。翌 1 月に学習者の多様なレベル・ニーズに対応した適切で効果的な教授法が学べる「中・上級」講座を開講。1 年を通して、学習者のレベルの合わせたこれら 3 つの講座を充実させることを目指す。

講師：数土容子（武蔵大学教員）

対象：学生、社会人

■水彩画レッスン

日々の暮らしのなかで、旅先でスケッチを楽しむためのレッスン。屋外スケッチでは新宿御苑、小石川植物園、東京たてもの園、神田の看板建築、目白界限近代建築など建物や風景をスケッチ。スコットホールギャラリーにて受講生と講師による作品展を開催。

期日：前後期に各 5 回のレッスンを開催、2 月に作品展

講師：森本太郎（美術作家）、渡邊義孝（建築家）、河原美由紀（画家）他

対象：学生、社会人 18 歳以上

■北田英治の写真講座

くらしの中の身近なものや風景を撮りながら、写真を楽しむための講座。前回の課題に基づいて撮影した受講生の写真を講評する。スコットホール内や中庭、戸山公園で撮影。スコットホールギャラリーにて受講生と講師の作品展を開催。

期日：5月～12月 月1回 原則第2土曜日 13:30～16:00 全8回、2月に作品展

講師：北田英治（写真家）

対象：学生、社会人 18歳以上

■スコットホールでゴスペルを歌おう

スコットホール講堂を会場に年4シーズンを設け、シーズン毎に講師によるオリジナルアレンジ曲をマスター。歌を通して元気を分かち合うことを目指す。4月にはOpen Voice Day!、12月にクリスマス発表会を開催するほか、奉仕園のイベントへの出演も予定。

講師：藤子（プロシンガー）

対象：学生、社会人

■連続講座 社会のセーフティネットを学ぶー外国人居住者と共に（仮題）

日本社会で暮らす在日外国人の状況や他国の支援制度と比較して日本の課題を学ぶ。

期日：年3回第3または第4土曜日午後開催予定

対象：学生、社会人

■連続講座 震災・原発・ライフスタイル再考（仮題）

東日本大震災による津波や原発事故の被害を知り、環境問題などのテーマと関連付けて、新しいライフスタイルや社会を創生していく可能性を学ぶ。

期日：年3回、第3または第4土曜日午後を予定。

対象：学生、社会人

■連続講座 社会のセーフティネットを学ぶー障がい者と共に（仮題）

現在の障がい者をとりまくセーフティネットのあり方、障がい者自立支援法などの政策的な課題を学ぶ。

期日：年3回、第3または第4土曜日午後を予定。

対象：学生、社会人

■連続講座 社会のセーフティネットを学ぶー格差社会と貧困（仮題）

格差社会や若者の貧困が話題になる昨今において、生活保護など日本で整備されているセーフティネットとはどのようなものか、その現状と課題を様々な分野の専門家を通じて学

ぶ。

期日；年3回、第3または第4土曜日午後を予定。

対象：学生、社会人

■聖書講座（日本クリスチャンアカデミー関東活動センター共催）

①聖書講座入門編『まちがったっていいじゃないか！の福音書』

聖書に初めて触れる人、学び始めたばかりの人を対象に、マルコによる福音書を通じて、聖書とはどんな書物か？聖書が語るイエスとは？を学び、自らの人間形成に役立てる。

日時：2015年1月～5月第3木曜日 14：00～15：30

講師：柳下明子（日本基督教団武蔵野緑教会牧師、日本聖書神学校教員）

対象：学生、社会人

②聖書講座応用編『イエスの譬え話』に響く声

伝統的な解釈にとらわれず、イエスの時代の社会背景を踏まえつつ新たな聖書読み方を探る。ガリラヤの民衆の視座からイエスの喩え話を読みとき、聖書のメッセージの今日的意味を学ぶ。テキスト「イエスの譬え話1」、ある程度聖書に親しんできた人を対象。：

日時：2015年4月～2016年2月第2火曜 18：30～20：00

講師：山口里子（日本フェミニスト神学宣教センター共同ディレクター）

対象：学生、社会人

（4）学寮運営事業（友愛学舎・ゲストハウス）

■友愛学舎

舎生数：2015年度は4年生3名（男子3名）、3年生4名（男子1名・女子3名）2年生2名（女子2名）の在寮生に加え 新1年生4名乃至5名を募集する。

活動：朝の会 学期期間中の月曜日から金曜日の7時から7時30分まで。聖書講読（ヨハネによる福音書）及び学生発表等を行う。

舎生会 毎月1回開催、友愛活動・生活について話し合う。

年間活動 4月の活動開始に向け、新入生を含めたオリエンテーションを1泊にて実

施、寮生活の意義や奉仕園や友愛学舎の歴史を学ぶ機会を持つ。友愛旅行・卒舎式（3月）などの行事のほか、留学生と共に年中行事を楽しむイベントの企画運営を担当する。また教会はじめ外部団体と連携し海外研修やボランティアの機会を増やしていくようにする。

■キリスト教学生寮懇談会

都内及び近郊のキリスト教主義による超教派の学生寮のネットワーク。年3回程度の会合をもちまわりで開き、寮運営、プログラム等について情報交換をおこなう。現在、9学寮が加盟しているが、さらに参加を呼び掛ける。

■ゲストハウス

大学学部生・大学院生・研究者のための寮であり、7名が在寮。年2回ほど寮生同士の懇親を行い奉仕園のプログラムなどへの積極的な参加を促す。年1回、関東近郊で日帰り懇親旅行を行う。

(5) 早稲田大学との協力による学寮運営事業（国際友愛学舎）

■国際学舎

早稲田大学の外国人留学生・研究員寮152室に140名（11月現在）が在寮。レジデントアシスタント（RA）がRAコミュニティルームに平日の19時00分～21時まで常駐。入寮時に提出される入居カードのデータベース化を推進する。

■留学生健康相談室の運営

必要に応じて個別面談を実施し健康状態の把握に努めると共に、インフルエンザの流行対策等を積極的に行う。大学とも連携を取り、緊急時を含めて対応できるような体制をとっており連絡体制などを随時確認していくようにする。

開室時間：毎週月曜日13：00～15：30、毎週水曜日及び木曜日13：30～17：30

相談内容：病院の紹介、栄養指導、ケガの応急処置、風邪の初期対応、感染症（インフルエンザ等）についての情報提供、アンケートでの健康状態の把握など。

■Friday・Night

寮生間の親睦をはかるパーティー。入寮の時期となる4月及び9月に開催、9月はJapanese Nightとして友愛学舎がホストを務める。

■奉仕園クリスマス会

奉仕園学生寮の寮生を中心に、12月12日に開催する。交流パーティーのほか、グループや個人によるアトラクションを予定。他の早稲田大学留学生寮へも呼びかける。

■第12回長野市大岡研修旅行

長野市大岡を訪問し、小学校訪問、農作業体験、ホームステイなどを通じて日本の農村生活を体験する。

人数：早稲田大学在籍の外国人留学生・研究者20名

期間：5月下旬から6月上旬 2泊3日

協力：早稲田大学ICC、公益財団法人育てる会大岡ひじり学園、長野市教育委員会

内容：大岡中学校での交流会、農家へのホームステイ、郷土料理実習、農作業体験、陶芸実習、自然散策、歴史的建造物の見学、ほか

■第6回富士山登頂研修旅行

NPOココロとカラダを育てるハッピープロジェクトの協力を得て、原発事故による放射能汚染によって首都圏へ避難している家族を招き留学生と共に山頂をめざす。事前のオリエンテーションにおいて、富士山のこと、登山の知識等のレクチャーをおこなう。

人数：留学生10名及び被災家族8名計18名程度

期間：8月の2泊3日（1泊は山小屋）

協力：NPOココロとカラダを育てるハッピープロジェクト、日本YMCA同盟東山荘

■第10回早稲田大学留学生・冬の富士山を楽しむ研修旅行

早稲田大学留学生が静岡県御殿場市を訪問し、富士山周辺散策を通じ日本の自然に触れ、環境への理解を深める。友愛学舎・信愛学舎の日本人学生を中心として留学生との合同で実施するプログラムとし、お互いの交流を深める場となるようにする。

人数：早稲田大学在籍の外国人留学生・研究者20名、日本人学生若干名

期間：2月初旬の2泊3日

協力：早稲田大学ICC、日本YMCA同盟東山荘

内容：富士山麓の散策、富士山周辺の自然学習、郷土料理実習、箱根観光等

■ホームビジット

留学生に東京近郊の一般的な日本人の生活に触れてもらう機会を提供する。

協力依頼：奉仕園OBOG、早稲田教会、東京平和教会、奉仕園日本語ボランティアの会、
稲門会など

実施期間：前期 6月1日～7月5日、後期 10月13日～12月6日

2. 収益事業

(1) 駐車場及び貸事務所等の賃貸並びに管理受託事業

■不動産賃貸事業

月極め駐車場及び事務所の賃貸、宣教師館・牧師館、教会への施設貸出し。また、隣接する日本基督教会館の耐震補強工事のため、作業用地として一部敷地を賃貸する。

■施設管理受託事業

早稲田大学染谷国際会館の施設管理及び入居者の各種対応をおこなう。

(2) 会議施設及びホール施設の貸与事業（セミナーハウス）

■会議室・ホール・ギャラリー

備品・設備の改善を適宜行い、利用拡大に努める。キリスト教会館耐震補強工事期間の6月～12月は、利用者に奉仕園内の他の部屋へ誘導するなど、混乱がないよう努めたい。ギャラリーは企画展を数回開催するとともに、引き続きオープンスペースとしての利用を誘致する。

■プログラム（協賛を含む）の開催

年3～4回程度、趣旨に賛同する集会について、使用料の割引やチケット等の買い上げにより、集会や活動を協賛する。また、東京都文化財ウィークに合わせたスコットホール公開事業（11

月頃)を行う。チャリティー古本市(5月、10月)を実施する。

3. 事業共通業務

■広告・宣伝

ホームページは2014年度より全面的なリニューアルを実施、引き続き見やすさや内容の充実に努め情報発信を強化する。フェイスブック、ツイッター、ブログ等多彩なメディアの活用を促進する。

■施設

おもな補修等は、3号館国際友愛学舎エレベーターの部品交換(2014年度支払と合わせ計170万)、5号館ベニンホフ記念館北側屋上防水補修(100万)、電話交換機更新・電話回線光導入工事(240万:リースにて実施)を予定している。

4. 法人総務

■賛助会員

公益団体としての認知度を高め、より幅広く個人・諸団体からの支援を得ることを目的とし、賛助会員制度を設けている。本年度は個人・団体との更なる会員増を目指す。

■広報

奉仕園通信の発行は年2回、カラー版で発行する。

■財団会議

理事会:第1回定時理事会(6月11日)、臨時理事会(7月予定)、第2回定時理事会(2016年3月)

評議員会:定時評議員会(6月)

常任理事会:数回開催

このほか、評議員・理事・監事懇談会を開催する場合あり。

■奉仕園ホームカミングデー

2015年10月25日午後1時30分よりスコットホールにて開催、礼拝と奉仕園の活動を紹介。

■キリスト教施設長会議

施設長研修：2016年1月27日から29日、日本バプテスト連盟天城山荘を会場に開催。

職員研修：2016年1月20日から22日、宜野湾セミナーハウスを会場に開催。